

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新船橋校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数)	35名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が提供できている。	フィードバックではその都度支援に関してのご質問、現在の困り感をお聞きさせていただき、そちらの内容を基に次回の支援に活かさせていただいております。	日々のフィードバックにて直近の出来事などを共有いただくとともに、園などへの見学にも参加させていただき、事業所外での本人の様子を知れるように努めてまいります。
2	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	5領域の項目を個別支援計画に組み込みながら、よりよい生活に向けての支援提供を心掛けております。	今後も、児童発達支援計画に沿った運営ができるよう心掛けてまいります。
3	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。	日々のフィードバックでは、口頭に加えてフィードバック記録もお渡しすることでフィードバック時間内に話せない内容も記載させていただいている。	今後もフィードバック記録用紙を活用しながら活動内容や今後に向けて相談させていただければと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が実施できていない。	個別療育を実施しているため機会が少なくなってしまうている。	小集団を実施実施時には保護者スペースを設け保護者様同士がつながる機会を模索してまいります。また、きょうだいを支援中に来所いただききょうだい間でのコミュニケーション練習なども実施できるよう進めてまいります。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	ご利用者様の見学に園訪問実施しておりますが、園全体との交換交流会などは実施できていない。	イベントを事業所内だけで実施するのではなく、地域の方に向けてのイベントも実施していけるよう検討してまいります。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	個人面談は実施しておりますが、時間や人員面からペアレントトレーニングは実施できていない。	研修に参加していき知識を身に着けながら保護者様への実施ができるよう心掛けてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新船橋校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

43名

回収数

35名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	9		1	・ブースに別れていて、集中して課題に取り組んでいると思います。もう少し広いとより体を動かしたりできると思います。 ・できればもう少し広いと活動しやすいと感じるが、工夫してやっているように見える。	・今後も粗大活動時にはバーデーションなどを外し活動を行い、場所の確保をしていければと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	3	2		・具体的な配置人数は把握してませんが、複数人が担当をしてくださっており、送迎時には多くの指導員の方が待機しているの、十分だと感じています。 ・足りない日もあると感じる。 ・実習生受け入れもしており、グループワークなどもできている。	・人員配置基準を満たしている場所となっております。安全面から職員の目が届くようサポート時の人数にも注意して運営させていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	6		1	・おもちゃの保管場所、洗面所、下駄箱など、療育を受ける際の導線はとても分かりやすく配置されていると感じます。バリアフリーについては、物件によりけりなので、仕方ないと感じます。	・ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけますよう努めてまいります。玄関の入口付近の段差に関しては今後事業所内でもご検討させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	8	1		・いつも綺麗に保たれていると感じます。また、居られたスペースにおいては、子供たちが活動しやすいように配慮されていると思います。	・ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけますよう努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	2			・子供の特性や親の要望をお伝えすると、それをすぐに反映させた活動をして頂けるので、非常に助かっています。また、年齢に応じた必要な対応を専門的な視点で対応をして頂いていると思います。 ・苦手な部分をやらせながらも、嫌にならないように理解して工夫されていると思う。	・ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけますよう努めてまいります。支援に関してご不明点などございましたらご連絡いただければ幸いです。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1		5	・公表している支援プログラムを把握できていないため。	・支援プログラムに関しまして事業所ホームページにて公表させていただいております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	2			・現状の家庭内、保育園等での生活における課題を中心に、親の要望を反映するかたちで、作成をしていると思います。	・個別支援計画に関してご不明点などございましたらご連絡いただければ幸いです。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	5			・そこまで詳細には設定していないと思いますが、ガイドラインに沿って作成していると思います。	・安心してご利用いただけますよう努めてまいります。ご希望ございましたらモニタリングやフィードバックの際にお話しいただければ幸いです。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	2		1	・計画に記載されている成長目標が半年単位でみると達成していることも多いので、計画に沿った支援をして頂いていると思っています。	・支援に関してご不明点などございましたらご連絡いただければ幸いです。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	6			・毎回、いろいろな教員を使って活動支援を頂いているので、そのように感じます。 ・小集団の活動なども（毎回内容が違う）あって工夫されていると思う。	・毎回の支援1つをオーダーメイドで活動実施させていただいております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	4	8	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	6	0	1	・対応も早く説明もはっきりしてくれた。対応が早いのが信頼に繋がりが子どもを預けて大丈夫と思えた。	・保護者様が不安にならぬよう今後も対応させていただきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	3	0	4		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	1	5	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32	3			・毎回のフィードバックをしていただける。また、こちらから相談した内容について事例に基づいたプリントを作成するなど即座にカリキュラムに反映いただけて非常に満足・信頼している。 ・よく「なにがございいますか？」と聞いていただけるので日常的に気づいたことなども伝えやすい。	・支援に関してご不明点などございましたらご連絡いただければ幸いです。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	4	1	5		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	9	17		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	3	4	5	・毎回支援の際に話す機会があるので伝えやすい。	・支援でのフィードバックの他にも個人面談も実施しておりますのでご希望の際にはご相談いただけますと幸いです。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	4			・通信も毎月発行されていてすごいと思う。	・ブログ/Instagram/通信を公開しておりますので、是非ご覧いただけますと幸いです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	4		4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	2	1	8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2		15		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2		7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3		11		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33	2			・とても安心していると感じています。 ・子供は毎日行きたいと言ってくれています。	・ありがとうございます。今後も楽しく通所ができる機会運営を心掛けてさせていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	3		1	・とても楽しみに通っており嬉しいです。 ・「きらい行くん～」と声をかけると、必ず大きな声で「はいっ」と返事をし、笑顔で近くなるとグッショで向かって行きます。先生方もとても良くして頂けているので、子供も喜んでいきます。 ・行くときは「行きたいな～」ということがあるが終われば、「楽しかった」と言っている。	・本人のペースに合わせながら活動プログラムを行っています。と思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34		1		・子供の様子から親としても満足をしています。また、成長に伴っていることも大きな理由です。 ・先生達には感謝しております。ありがとうございます。 ・親が相談したことや話したいことを上手く支援に反映させてくれていてありがたいです。	・ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけますよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」新船橋校					公表日	2025 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令に順守しており、ブースが3つしっかりと分けられています。パーテーションを移動させ活動を行うことで事故等に注意しております。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令順守し、指導員の加配体制が整えられています。 （法令で必要とされる配置数＋1名）緊急時に関しても必ず誰かが対応できる環境を図っております。	支援担当の職員の他にも1名支援ブース近くに待機し有事に備えて参りたいと思います。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○							
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		ご利用者様の特性に合わせて、活動場所を設定しております。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に会議を行い振り返ることで、適切な目標を設定することが出来ています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度実施する保護者からの事業所評価をもとに、頂いたご意見に対し事業所内で話し合い、出来るところから改善に向けて努めています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	書式を伴うしっかりとしたものは行っていませんが、療育支援課による巡回訪問にて保育士資格を有する方からのご意見を頂戴し、今後のサービス提供の改善へと繋げてまいります。	場合によっては第三者の外部評価を検討していく。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		自教室による事業所内研修、他教室との連携による事例検討会、発達支援研究所によるウェビナー研修など定期的に実施しています。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPにて公表予定をしております。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメント（課題を分析するために情報収集を行うこと）、モニタリング（サービスの提供が開始された後に行う現状把握）、それぞれの意味を理解し取り組んでいく必要が望ましいため、今後も図ってまいります。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		半年に1度の個別支援計画検討会議を実施。随時支援会議を実施しております。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		半年に1度の個別支援計画検討会議を実施。随時支援会議を実施しております。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内にてアセスメントシートを共有し活用させて頂いております。					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援目標に対してどのような活動をどのように実施していくのか明記することを心掛けております。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		指導員間でしっかりと情報を共有し、支えながら日々支援を行っています。また3カ月～6か月を目途にモニタリング会議を実施しています。					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	同じ指導員が続くことが無いよう調整した上で、以前の支援記録を確認し継続支援の下実施しているプログラム以外は内容が被らないよう配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	定期的な小集団イベントを開催し集団での活動も実施させていただいております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎朝朝礼を行い、前日の引継ぎや当日の注意点、シフト調整などスタッフ全員で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	当日、もしくは翌日に引継ぎや保護者の話、気になったこと、変化などについてスタッフ全員で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援記録は出来る限り当日のうちに記入することとし、日々の支援の記録から指導員同士で改善点等を共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	利用児童に対し少なくとも半年に一度は計画の見直しを行う為、毎週モニタリングの時間を確保し支援方針の見直し・振り返りを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達管理責任者だけでなく指導員の参画も心掛けております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	ご利用開始時に主治医等の調査を実施させていただいております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	必用に応じて、園/学校などの関係機関へ訪問させていただき、ご利用者様の様子や状況の確認及び、担当者様との面談を実施させていただいております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	ご希望に沿い、進学先への情報共有を実施しております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○	必要に応じて、保護者を通して児童発達支援センターと連携することもあります。専門機関との連携・助言・研修などの機会を多く設けていけるよう努めてまいります。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域交流については、限られた支援時間の中で実施が難しいことから、外部イベントへの積極的な参加は見送っています。時期に応じて内部＋外部向けイベントの開催も今後検討してまいります。	きらり広場開催時には地域の方の参加も可能できるよう検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援後のフィードバック時に、支援の様子や最近のお子さんの様子を話し、保護者との情報共有を行っています。また口頭だけでなく、フィードバック用紙を用いて細かに共有を努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	研修会など（会社全体としての取り組み）を模索し、スキルアップに繋げてまいります。	ペアレントトレーニング研修などへの参加したことを活かし研修会などを保護者様向けに実施できるよう検討してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	面談や契約時に管理者が丁寧に伝えています。また、フリースペースに資料集を閲覧できるよう設置しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	計画を作成させていただいた際には保護者様の意思を確認させてから移行しております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を作成させていただきました際には、必ず同意をえております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後にはフィードバックにて最近の困りごとなどを共有させていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現時点では保護者向けの会などを開催することは出来ていません。小集団イベントなどの際、保護者スペースを確保し交流の場として提供していけたらと思います。	小集団を実施実施時には保護者スペースを設け保護者様同士がつながる機会を模索してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		要望に対して、まずは傾聴し迅速に取り組めるものから順次取り掛かり対応しています。今後さらに周知していき、より良い信頼関係が築いていけるよう努めてまいります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページの校舎ブログは月1で更新し校舎のイベント情報などを発信しています。 通信を月一で発行、Instagramの更新も行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載されているものに関しては鍵付きのロッカーに保管しています。書類などに関しては他利用者の目に触れないよう配慮しています。SNSへのお子様の写真許可に関してダブルチェックを徹底しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		目線を合わせる、口元を見せる、紙に書く等、お子さんの状態に合わせて配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域に開かれた事業運営は行えていませんが、開校時には外部向け体験会を実施しました。継続的に近隣地域とも繋がるイベントが実施できるよう図ってまいります。	きらり広場開催時には地域の方の参加も可能できるよう検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを研修や毎月の防災訓練で確認し、発生を想定した訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的にスタッフだけでなく、お子さん/保護者を交えた防災避難訓練を計画、実際に避難先まで移動することで危険箇所を把握し、災害時を想定した引き渡し訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご利用開始時に確認をさせていただいております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食べ物の提供は行っていないが、食べ物に限らずアレルギー全般に関しても一覧表で管理しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		月に一度の防災訓練の他に、感染症対策研修などの実施もしております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		防災カードを配布し備えております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起きる度に報告書を作成し、事業所内で改善点を話し合い情報共有しています。他校舎の状況に関しても、その都度共有を行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待・身体拘束委員会設置の他、研修実施をしております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		虐待・身体拘束委員会設置の他、研修実施をしております。	